

パンタナル通信

一般社団法人 南北米福地開発協会 会報

2024年10月1日 253号

世界平和地球村の建設と自然環境の保護



●この日は交流会。カードゲームやボール遊びで楽しいひと時を持ちました。8月25日

島田家移住2年



8月11日

●堂々たるドラドを釣った島田家長男。



7月28日

●左より、森さん、島田家次男、次女、長女。



●スルビは力持ち。おじいさん(岩澤園長)がすかさずアシスト。8月18日

「親子が共に学んだことは多くあります」

チャパボラの森澄佳さんがインタビュしました。

島田家の証

今回は、移住されてからの2年間余りを振り返って、島田香月さんからお話を伺いたいと思います。

Q レダでの生活や子育てで大変だったことや不安だったことはありますか？

A 蚊が多すぎたり、暑すぎたり、道が悪かったりして、想像してたほどには、自然の中で遊べませんでした。

我が家の方針が、今好きなこと、興味があることをやらせることだったので、好きなキャラクターを折り紙や段ボールで創作したり、ごっこ遊びの道具を紙で作したり、創作系のゲーム（マイクラフト）で自分の好きなように世界を作り上げたりと、自由にのびのびと過ごすことができて良かったです。欲を言えば、友だちが欲しかったです。

レダで過ごしながら、何か心配になる事故もありましたが、看護師をしていた青年に診てもらったり、自分でもネット検索をして

対処しながら、なんとか乗り切りました。

お勉強的なものはできていませんが、この2年間のいろんなことを見聞きして、興味を持ちながら、親に尋ねる姿がありました。その中で親子が共に学んだことは多くあると思います。

Q 子どもの成長を感じたことや、レダだから良かったこと

A 団体行動や人前で発表するのが苦手だった子ですが、誕生日会があるたびに練習を重ねて、親と一緒に発表できるようになったことはすごいなと思いました。

また、幼稚園時代はプールに入れなかったのですが、親が泳ぐ姿を見せたところ、興味を持って、自ら入れるようになりました。

レダだから良かったのは、猫や犬を可愛がる中で生き物への愛が深まったこと、釣りに挑戦できたこと、いろんな青年、シニアと知り合って交流できたことです。（可愛がってくださった皆さん、本当にありがとうございました！）（次面につづく）

familia Shimada



●歴代のチャパボラからも愛されたプリンセスたち。6月15日



●4時間の釣りでピンタードとスルビを合計21匹釣る！一番大きいのを釣ったのは、島田家の長男(中央)。釣りを通して、たくさんの忍耐する心を学ぶことができました。8月25日



歡送会
8月27日



●8月28日に引っ越しました。新居で2日目の夕食。8月29日



●アスンシオンの新居は大リフォームが必要でした。7月23日

島田家の証（一面よりつづく）

Q レダに家庭で移住する人が増えるために必要だと思うことはありますか？

A 住む家、仕事、遊び場（外に遊具・砂場など、中に体育館や勉強や遊びのできる建物）はもちろんですが、働き方自体も、単身者を前提としたものから、家族がいても続けられる働き方へ変えないといけないと思います。子どもたちや妻たちの意見・反応を見ながら、より良い形を考えていく姿勢が大事だと思います。

Q これから首都アスンシオンでの歩みですが、展望や抱負はありますか？

A 具体的にどうやっていくのか模索中ですが、結果として「こうやって生きていけるんだな」という一つの例を、青年や若い夫婦に見せられたら良いなと思います。その中で、自分もやってみたいと思う人が出てきたら、嬉しいですね。

◎ 香月さん、ありがとうございます。レダに家庭で移住したのは島田家庭が初めてで、困難も多かったと思いますが、新しい道を切り拓いてくださったことに感謝しています。これからの島田家の発展を祈っています！

（インタビュー兼執筆 森澄佳）



●農業体験で、ずっしり、大きなカボチャを収穫しました。8月27日



●5年ぶりにレダに帰ってきた加藤さんの歓迎会。8月21日



●エスペランサ村創設40周年のお祝い。レダからパクー15匹と豚2頭を贈りました。上は参加したレダのメンバーたち。9月7日



●台所担当の従業員の入れ替わりの日、自分たちで昼食を準備しました。ピーマンの肉詰め、麻婆茄子、他びっくりずくめ。8月28日



●籠の中のアオボウシインコ。

●マンゴーに来たキカタインコ。

●ラパーチョの花とクロガミインコ。

●頬が白いオキナインコ。

インコは、ペットとして市場で売られることもあります。飛んで逃げられないよう、翼を短く切られていて、愛とは何かを考えさせられます。■

学習能力は、かなり高いようです。特にキカタインコは果樹園に来て、マンゴーの果実を好んで啄むので、おいしい実を何としても守りたい私たちとは、長い攻防の歴史があります。

興味深いのは、その鳴き声。「ギャー」とか、「ギー」とか、その愛らしい姿からは想像し難い濁音的な声に、思わず創造主の意図を考えさせられることがあります。透き通った美声で歌う、真っ黒な姿のチョピと好対照です。

レダで最も普通に見られる緑色のインコは、オキナインコ、クロガミインコ、キカタインコの3種です。稀にアオボウシインコが目撃されることもあります。

レダに棲む緑のインコたち

重点課題

レダの電気屋さん



第15回

レダの電気屋さんの重点課題

今月も、日本滞在中の執筆ですので、一步引いた立場からレダの未来を考えてみたいと思います。現在レダは、シニアの高齢化問題と設備の老朽化

問題及び、それに付随した、多くの課題を抱えています。そんな沢山の課題の中で、私が特に重要と感じたものを3点、左上の表に挙げさせていただきます。「広報活動」「事業開発」「基礎インフラ」です。その中でも特に重要なのが「広報活動」であると感じます。

活動の方向性・具体例	
広報活動 レダを身近な存在として感じてもらう	<レダの今をリアルに伝える> ・「パンタナール通信」 ・「フォレストニュース」 ・Facebook, Instagram ・LINEグループ
事業開発 事業へのこだわり →売上、品質、原価	<支援金募集の働きかけ> ・仕掛け、キャッチコピー →「理想国家建設」という夢への投資 ・仕組みづくり →銀行振込、〇〇Pay、クラウドファンディング
基礎インフラ	<生産> ・品質管理 ・原価管理 ・生産性向上 <販売> ・売り先の確保 ・商品の最適化 ・販売戦略の検討 →ブランド戦略
	<ライフライン> ・現状維持 10~20人程度分 <インターネット> ・停電対策 →無停電電源装置の導入

ここでいう「広報活動」の主な目的は、「レダの今をリアルに伝える」ということと、「支援金募集の働きかけ」の2点です。前者はできるだけリアルな情報を広く伝えたいということです。後者は、支援金の募集と共に、支援者が納得できる活動報告をすることで含みます。

「神様の平和理想世界のモデルを築く」というビジョンに合致したリアルなレダの活動をしっかりと伝えることができれば、レダの未来は明るいと思います。

広報活動は、レダ現地に来なくても応援できる活動です。

ご興味ある方は、事務局まで連絡いただければと思います。(山崎茂章)

マンジ？ マンディ？

パラグアイ川で釣りをされたことのある皆様、マンジを釣ったことがありますか？ そうです、あの小さなナマズのマンジです。ボガやスルビを釣ろうとしたのに、残念、小さなマンジがたくさん釣れたりしますね。



●釣られたマンジ(マンディ)は、キーキーと鳴きます。(グアラニー語で、mandi'i)

では、あの魚を「マンジ」と呼ぶ人と「マンディ」と呼ぶ人がいることにお気づきになったでしょうか？ 実は、前者はブ

ラジル(ポルトガル語)式の発音、後者はパラグアイ(スペイン語)式の発音なのです。



同様の例は無数にあり、例えば「マンジョーカ」と「マンディオカ」は、文字で書けば、どちらも“mandioca”です。オンライン翻訳で、「キャッサバ」をスペイン語とポルトガル語に訳し、発音を聴いてみてください。

ところで、「庭園」はスペイン語で“jardín”(ハルディン)、ポルトガル語で“jardim”(ジャルジン)と言います。でも、ブラジルの都市“Jardim”は、固有名詞なので、パラグアイ人も「ジャルジン」と呼んでくれることがあります。■

一般社団法人 南北米福地開発協会 事務局

〒213-0001

神奈川県川崎市高津区

溝口3-11-15

岩崎ビル4F

電話: 044-829-2821

FAX: 044-829-2820

支援金振込口座: ゆうちょ銀行

記号10280 番号61349751

一般社団法人 南北米福地開発協会

e-メール: office@asd-nsa.com

ホームページ: <https://asd-nsa.com>

パンフレット: 当会の紹介と入会申込書

<https://asd-nsa.com/sk/>

パンタナール通信を直接お届けします

パンタナール通信



パンタナール通信は当会の会報です。会員の皆様には毎月郵送でお届けしています。南米レダの活動現場から来る、その生の姿をご覧ください。入会申込書は左記のURL、右のQRコードから。



レダのショート動画

- 1.トラックの荷台に乗って...24年7月28日
- 2.トコトコ走るよ、アルマジロ.....同8月27日
- 3.ジャカレ(ワニ)の子どもたち.....同9月5日
- 4.エスベランサ村創立40周年....同9月7日

